

東北学院の沿革

- 1886(明治19)年 押川方義とW E ホーイ両氏の協力により、キリスト教伝道者育成の目的をもって仙台市木町通りに6人の生徒による『仙台神学校』を開校。
- 1891(明治24)年 校名を『東北学院』と改称する。予科2年、本科4年、神学部3年に学制変更し、近代教育機関としての形態が定まる。
- 1901(明治34)年 D B シュネーダー院長就任。『献身犠牲』のキリスト教精神をモットーとして、本学院存立の使命達成に向けて献身。
- 1918(大正 7)年 専門部を改組し、神学科、文科、師範科、商科とする。
- 1936(昭和11)年 創立50周年記念式典を挙げる。D B シュネーダー、院長を辞任。
- 1946(昭和21)年 英文科、経済科を含む東北学院専門学校を開設。米国ミッションボードとの提携も回復。
- 1947(昭和22)年 新制中学校を設置。
- 1948(昭和23)年 新制高等学校、同二部を設置。
- 1949(昭和24)年 専門学校を、教育基本法・学校教育法に基づき大学に昇格し、文経学部を設置。
- 1951(昭和26)年 「学校法人東北学院」設置認可。
- 1959(昭和34)年 大学に文経学部二部設置。高等学校榴ヶ岡校舎を開設。
- 1962(昭和37)年 大学工学部を多賀城市に新設。同校地内に幼稚園開設。
- 1964(昭和39)年 大学文経学部を文学部と経済学部に、文経学部二部を文学部二部と経済学部二部に分離。大学院文学研究科を設置。
- 1965(昭和40)年 大学法学部と大学院経済学研究科を設置。
- 1966(昭和41)年 大学院工学研究科を設置。
- 1972(昭和47)年 高等学校榴ヶ岡校舎を榴ヶ岡高等学校として分離独立。
- 1975(昭和50)年 大学院法学研究科を設置。
- 1983(昭和58)年 高等学校二部閉校。
- 1985(昭和60)年 幼稚園園舎を新築し移転。
- 1986(昭和61)年 創立100周年記念式典を挙げる。
- 1988(昭和63)年 泉キャンパス開校、教養部を移転。
- 1989(平成元)年 大学教養学部を泉キャンパスに新設。
- 1994(平成 6)年 大学院人間情報学研究科(修士課程)を設置。
- 1996(平成 8)年 大学院人間情報学研究科(博士課程)を設置。
- 1997(平成 9)年 大学院文学研究科にヨーロッパ文化史専攻(修士課程)とアジア文化史専攻(修士課程)を増設。
- 1999(平成11)年 大学設置50周年記念式典を挙げる。大学院文学研究科ヨーロッパ文化史専攻(博士課程)、アジア文化史専攻(博士課程)を設置。
- 2000(平成12)年 文学部英文学科、経済学部経済学科と商学科に昼夜開講制を導入。文学部二部英文学科と経済学部二部経済学科は募集停止。
- 2001(平成13)年 文学部基督教学科をキリスト教学科に、経済学部商学科を経営学科に、教養学部教養学科学語科学専攻を言語文化専攻に改称。東北学院資料室開設。
- 2002(平成14)年 工学部機械工学科を機械創成工学科に、電気工学科を電気情報工学科に、応用物理学科を物理情報工学科に、土木工学科を環境土木工学科にそれぞれ改称。大学院経済学研究科に経営学専攻を設置。

利用案内

東北学院資料室は、広く一般の方々にも開放しております。

■開室時間

授業期間中	月～金 10:30～16:00
	但し、昼休み時間(12:30～13:30まで)を除きます。
	土 10:30～12:00
	祝祭日はお休みいたします。
長期休暇中 <small>(春休・夏休・冬休)</small>	月～金 10:00～15:30
	但し、昼休み時間(12:30～13:30まで)を除きます。
	土・祝祭日はお休みいたします。

団体でご見学の場合は、事前にご連絡ください。

■案内図



駐車場がございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

イラストレーション 吉山 拓
背景画は仙台神学校校舎をイメージ

東北学院資料室

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
(ラウハウザー記念礼拝堂地階)

TEL 022-264-6423 FAX 022-264-6478

E-mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

URL: http://www.tohoku-gakuin.ac.jp



学校法人 東北学院

東北学院の歴史

“東北を日本のスコットランドに”校祖の思いを...

1885(明治18)年、東北地方で熱心に伝道活動をしていた押川方義は、ドイツ改革派教会から日本に派遣されたW.E. ホーイと出会い、翌1886年には古い借家に私塾を設立。集まったわずか6人の伝道者志望の学生とともに、仙台を本拠地とした日本人の手による本格的なキリスト教布教に力を注ぎました。これが、のちの東北学院の前身「仙台神学校」です。初代院長には押川、副院長にはホーイが就任。翌年には第二代院長となるD.B. シュネーダーも夫妻で来日し、普通高等教育も開始されて、ここに学校法人東北学院の基礎が築かれた。



東北学院の三校祖



初代院長 おしかわまさよし
押川方義
(1850-1928)

松山藩士橋本家の三男として生まれ、押川家に入る。横浜英学校でキリスト教に触れ1872(明治5)年横浜海岸教会にてバプティスト受洗。日本最初のプロテスタント教会である日本基督公会を組織する。1886年、ホーイとともに仙台神学校を創設。5年後(1891年)に東北学院と改称する。翌年初代院長に就任し、1901年に辞任。以後も東北学院顧問として終生関わりを持つ。



初代副院長 W.E. ホーイ
(1858-1927)

アメリカドイツ改革派教会宣教師。米国ランカスター神学校卒。1887(明治18)年来日する。押川らと共に翌年、仙台神学校、宮城女学校(宮城学院)を創立。1892年東北学院副院長に就任。1899年学院を辞し、中国湖南省で伝道を開始する。1903年フランクリン・アンド・マーシャル大学より名誉神学博士号を受ける。



二代院長 D.B. シュネーダー
(1857-1938)

アメリカドイツ改革派教会宣教師。米国ランカスター神学校卒。1887(明治20)年来日。翌年仙台に着任し、創立されたばかりの仙台神学校教授として押川、ホーイを助ける。1901年には第二代院長に就任。35年におよぶ在職中、東北学院を私塾的存在から中学部、高等学部、神学部と学制の整ったキリスト教教育機関として発展成長させた。東北学院中興の祖。

創立時から現在まで... 学びとしての東北学院

東北学院資料室

「東北学院資料室」は、仙台神学校時代から今日に至るまでの東北学院に関する歴史を将来に伝承するとともに、「建学の精神」に関連する資料を収集・保存・展示し、東北学院の発展に資することを目的(東北学院資料室運営委員会規程第2条)として、2001(平成13)年5月15日(本院創立記念日)、土樋キャンパスラー・ハウザー記念礼拝堂地階に開設されました。

現在、本院創設の三校祖(押川方義、W.E. ホーイ、D.B. シュネーダー)にかかわる写真や資料を中心に常設展示(約200点)しております。



ラー・ハウザー記念礼拝堂地階に開室



仙台神学校舎模型(中央)と同校舎玄関コーナーストーンの一部



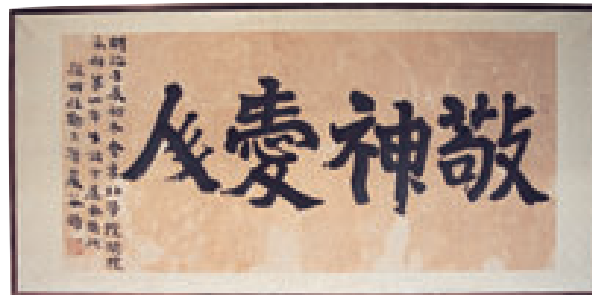
東北学院の沿革と各種資料



建学のシンボルTGマーク

「TGマーク」

1905(明治38)年、東二番丁に普通科校舎が完成すると、学生による文化・体育活動も盛んになりました。これを受け「東北学院」の頭文字をとったTGマークも制定。以後、今日まで、東北学院のシンボリックな存在として親しまれています。

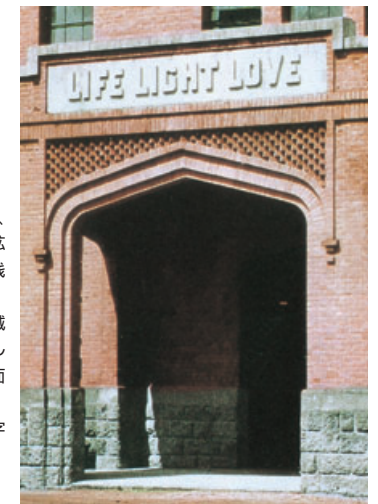


「敬神愛人」(タテ約90cm x ヨコ約195cm)

1892(明治25)年11月18日に仙台神学校で行われた東北学院開院式の際、本科4年生が記念に講堂に掲げた額。これは「神への愛と隣人への愛」を簡潔に意識したもので、本学の建学の精神として、広く同窓生の心に刻まれているものである。当時の書道の大家、巖谷修氏(文学者巖谷小波の父)の揮毫による。

「LIFE LIGHT LOVE」

第二次大戦中の空襲による被災、戦後の周辺道路拡幅や新施設拡充のために建物中央の一部を残すのみとなった赤煉瓦校舎も、1979(昭和54)年、前年6月の宮城県沖地震により倒壊の危機に瀕したため取り壊された。校舎の正面には「LIFE LIGHT LOVE(命・光・愛)」の建学の精神となる文字が刻まれていた。



1922(大正11)年に再建された
中学部(赤レンガ)校舎正面入口